

環境報告書（初年度版）

～持続可能な印刷産業を目指した私たちの第一歩～

対象期間：令和7年7月1日～令和8年6月30日

報告日：令和8年7月31日

作成部署：総務部 / 環境委員会

まつざき印刷株式会社

1. トップメッセージ（経営方針）

私たち まつざき印刷株式会社 は、地域社会とともに歩む印刷会社として、情報発信の一翼を担ってまいりました。同時に、印刷業が用紙、インキ、エネルギーなどの資源を多く消費し、地球環境に一定の負荷を与えている事実を真摯に受け止める必要があります。

気候変動や環境問題への対応が企業にとって不可欠となる中、私たちは未来の世代へ豊かな地球を引き継ぐため、環境配慮型経営へと舵を切ることを決意いたしました。今年度は、その取り組みの令和7年度として、まず自社がどれだけの環境負荷を与えているかを正しく把握（見える化）することからスタートいたしました。

私たちは、現在の等身大の立ち位置（ベースライン）をここに誠実に公表し、これから全社一丸となって、環境負荷の低減と持続可能な社会の実現に向け、着実な一歩を踏み出してまいります。

まつざき印刷株式会社 代表取締役社長
松崎 友之

2. 会社概要と対象範囲

本報告書が対象とする組織および事業活動の範囲は以下の通りです。

会社名	まつざき印刷株式会社
所在地	広島県福山市神辺町西中条 1333-6

事業内容	商業印刷、企画・デザイン
報告対象の範囲	本社、および本社工場のすべての事業活動

3. 当社の事業活動と環境負荷の現状（ベースライン）

今年度は「環境負荷の見える化」を最優先目標とし、主要な環境データを集計いたしました。初年度のため前年比の比較はありませんが、この数値を今後の改善基準（ベースライン）といたします。

環境負荷の項目	初年度の実績値	単位	算出データ（根拠・対象）
電力使用量 （オフィス・工場全体）	864,906	kWh	電気料金の検針票より集計
ガソリン消費量 （営業車・配送トラック）	ガソリン 9,779.19 軽油 11,717.24	L L	ガソリン代の精算書、給油カード履歴より集計
印刷用紙の購入量 （製品用）	1,480.3	t	仕入先からの納品データ、受発注システムより集計
インキの消費量 （オフセット・デジタル計）	15,222	kg	インキ調達量および在庫変動より算出
産業廃棄物の排出量 （ヤレ紙、廃溶剤、ウエス等）	ヤレ紙 227 廃液 2.4 廃インキ 860 廃ウエス 3,200	t t L L	産業廃棄物管理票（マニフェスト）のE票より集計

4. 今年度の主な取り組み実績

初年度である今年度は、現状の数値把握と並行して、即座に実施可能な以下の環境負荷低減活動を推進いたしました。

- **【印刷工程における廃棄物削減（ロス対策）】**
印刷の刷り出し（本刷り前のテスト印刷）における「ヤレ紙（損紙）」を低減するため、印刷機の標準化（カラーマネジメント）を進め、テスト回数を減らす取り組みを実施しました。
- **【環境配慮型資材の選定・推奨】**
お客様へのご提案時に、FSC®認証紙や再生紙、および植物油インキ（ベジタブルインキ）を使用した環境配慮型印刷製品のラインナップを提示し、グリーン購入の促進を図りました。
- **【工場・オフィスにおける省エネルギーの推進】**
昼休みや不稼働エリアの徹底消灯、エアコン設定温度の適正化（夏季 28℃、冬季 20℃）を呼びかけ、無駄な電力消費の抑制に努めました。
- **【化学物質（廃溶剤）の適正管理】**
印刷機の洗浄に使用する溶剤について、揮発を防ぐため保管容器の蓋の徹底管理を行い、作業環境の改善と揮発性有機化合物（VOC）の抑制に努めました。

5. 次年度の環境目標

初年度に測定した上記の実績（ベースライン）を基準（100%）とし、次年度は具体的な数値目標を掲げて環境負荷の低減を継続していきます。

活動項目	次年度の削減目標	具体的な施策案	担当部署
電力消費の削減	今年度実績より 2 % 削減	製造設備の稼働効率向上	製造部 / 総務部
配送・営業ガソリンの削減	今年度実績より 3 % 削減	エコドライブの徹底、配送ルートの見直し	総務部 / 配送担当
産業廃棄物（ヤレ紙等）の削減	今年度実績より 5 % 削減	印刷工程のミス撲滅、損紙のさらなる抑制	印刷部 / 生産管理部

【本報告書に関するお問い合わせ窓口】

まつざき印刷株式会社 総務部 / 環境委員会

担当者：総務部長 砂田 吉広

TEL：084-960-0800 / E-mail：office@mzp.co.jp